

## 「土木建設技術発表会 2023」開催と講演論文の募集

開催日：2023年11月7日

申込締切日：2023年6月16日 [金]

今日の土木建設産業では、トータル建設コストの削減、耐久性、環境の保全と回復、リサイクル、アメニティー等、土木建設技術への要求も多様化、かつ質の高さを求められており、総合工学として土木建設の技術者に課せられた課題は重いものになってきています。

建設技術研究委員会では、土木建設工事の計画、設計、施工、維持、補修などの実務に従事する技術者から最新の技術にかかわる発表を募集し、「土木建設技術発表会 2023」を下記の要領で開催することにいたしました。

この発表会は、建設技術について自由、活発に討論できる定期的な場として、2002年「土木建設技術シンポジウム」としてスタートしてから22回目を迎えます。建設会社や、建設コンサルタント、発注機関あるいは大学等教育機関など多方面からの応募を期待しております。

つきましては、下記要領を参照のうえ奮ってご応募ください。

### 記

1. 主催 土木学会（担当：建設技術研究委員会）
2. 開催日 **2023年11月7日(火)**
3. 場所 土木学会講堂他（オンライン併用）（発表者は原則として土木学会での参加を予定）
4. 申込締切日 **2023年6月16日（金）**
5. 原稿締切 **2023年8月4日（金）**
6. 参加費 **無料**を予定（参加者募集時に詳細をご案内予定）
7. 応募要領
  - (1) テーマ 発表のテーマは工種を問わず土木建設の実務に関する多方面からの分野とします。例えば以下のようなキーワードを参考にしてください。
    - ・ **建設DX（i-construction、生産性向上、建設ロボット化、AI等）**
    - ・ **維持更新技術（インフラ更新、診断技術、耐震補強技術、補強・補修、維持管理、アセットマネジメントなど）**
    - ・ 最新の施工技術
    - ・ 環境関連（SDG's、カーボンニュートラル、リサイクル、ゼロエミッション、建設副産物利用、環境影響評価、土壌汚染対策、地下水対策など）
    - ・ 海外プロジェクト
    - ・ その他設計・施工に関する事項（橋梁、トンネル、基礎工、土工、河川、ダムなど）
  - (2) 申込方法
    - a) 講演申込方法：インターネットによる電子申込みにて受付けます。土木学会建設技術研究委員会・土木建設技術発表会ホームページ(<http://committees.jsce.or.jp/sekou06/happyoukai2023>)に開催スケジュールや講演申し込みフォームを掲載致しますのでご覧ください。
    - b) 投稿：①論文投稿ページは、申込ページとは別途、上記HPに掲載致します。  
②論文投稿のお願いは受付完了後に連絡いたします。  
③投稿者は上記HPに掲載の執筆要領に従い、A4版で原稿を作成してください（4～8頁程度）。  
④論文については、内容、図表の体裁、様式等修正を求めることがあります。また、商業的な宣伝色の強い内容や誹謗中傷内容のあるものはお断りすることがあります。
  - (3) 問合せ先：土木学会 建設技術研究委員会 「土木建設技術発表会 2023」係  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内  
事務局 E-mail：kensetsuhappyou@jsce.or.jp